

取組の概要

取組の概要 : 生産力の強化による収益性の向上
計画作成主体 : 南丹市地域農業再生協議会
対象品目 : そば(産地面積:10ha)
主な取組主体 : 有限会社タナセン
成果目標 : 10a当たりのそば販売額の10%以上の増加
助成金の活用 : 生産支援事業(普通型コンバインのリース導入)

ポイント

- ①大型機械の導入による適期刈取を実施し、刈遅れを抑制し収量を確保。
- ②WCS用稲の輪作体系を取り入れ連作障害を防止。
- ③畜産農家との耕畜連携(たい肥活用)により単収を向上。

地区の概要



京都府
南丹市
みやま
美山町

産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積:8ha
販売額 :15,690円/10a

〈目標:H30年度〉

作付面積:10ha
販売額 :19,950円/10a



推進体制

地域の関係者(京都府南丹広域振興局、南丹市、京都農業協同組合、農業関係者等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 契約栽培による安定取引を実施。
- 作業受託により取組面積の拡大を図る。

事業効果

- 大型機械を新たに導入することで適期刈取りが可能となり、単収向上による販売額の増加と面積拡大による収益増加が期待される。また、そばとWCS用稲を組み合わせることにより、連作障害を防止するとともに、耕畜連携により地力が向上する。

～ 10a当たりの販売額 ～

